

子どもを真ん中にした地域ぐるみの学校支援で、学校が元気に！地域が元気に！

とんぐい村の こみ・すく通信

令和2年8月3日発行 第12号
更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団 の活動を紹介 <その5> 更別小5年生の家庭科に 地域の応援団の方々が初めて授業支援

6月29日と7月7日の2日間、更別小学校5年生の家庭科の時間に、地域の学校応援団の方々が授業支援に入ってくださいました。家庭科の地域の方による支援は、初めての取組です。

6月29日には、3人の地域の方、7月7日には4人の地域の方と2人の保護者の方が授業支援に入りました。



密を避けるため、2つの教室で授業をします。

【担任の先生と事前の打ち合わせ】

本日の授業の内容確認、子どもたちにどんな支援をしていったらよいかの観点を提示していただいたので、スムーズに支援ができました。

5年生の家庭科の内容は「ソーイング」。

29日は、玉結び、玉止めを学んでいたのので、なみ縫いなどをしたあとボタンづけをしました。苦労している児童に学校応援団の方がお手伝いしました。

7日の日は、今まで学んだことを生かして「カード入れ」「ティッシュカバー」「ペットボトルキャップの針さし」からひとつ選んで作りました。学校応援団の方が様子を見ながら、子どもたちにそっと手を差し伸べていました。



学校応援団 栗田さん 梶浦さん
草深さん 佐藤さん

担任の仲野先生は「サポートしてもらうことで、子どもたちが安心して学習に臨み、できる喜びを味わうことができました。」とコメント。

「みんなの学校応援団」 小学校のミシンの授業をお手伝いして くださる方募集！

今回、地域の方に家庭科の授業支援に入っていたで感じたことは、お互いに受け取ることができる「よさ」です。子どもたちにとっては、分からないところや苦手なところを教えてもらい、支援する側は子どもたちから元気や喜びをもらうことができます。

学校側にとっても、子どもたちの成長を支えてもらえるのですから、大変ありがたいことです。

今までも多くの支援が学校に入っていました。コミュニティ・スクールを活性化させ、地域で子どもたちの成長を支える形をさらにつくっていきたいと思っています。

次は6年生がミシンを使う授業をするそうです。

児童にとっては初めて使うミシンですので、かなり苦労するようですし、指導する先生もなかなか手が回らないのが現状です。そんな時、そっと教えてあげたり、間違った使い方を直してあげたりする地域の応援団の方がいてくださったら、子どもたちにとってどんなにありがたいことでしょう。地域の方でお手伝いできる方がいましたら、是非ご連絡をお願いいたします。

個人で連絡いただいても、サークルや団体で連絡いただいてもかまいません。是非ご協力をお願いいたします。

ご連絡、お問い合わせは、各学校の教頭先生か教育委員会(52-3171)のCSコーディネーター宝輪祐子までご連絡ください。